

# 華誠の知的財産権ニュースレター

2018年01月 第11期

## 目次

### 知的財産権

- 2018年1月から実施された知的財産権の新法規
- 中国国家知識産権局の2017年の主要な業務の進展
- 2017年中国大陸の革新企業トップ100リスト
- 2018～2020年AI産業発展行動計画

### 特許

- 中国企業が特許ポートフォリオでヨーロッパの“包囲を突破”

### 商標

- 2017年に中国で権利が確認された商標の出願人保有件数ランキング

公式サイト: [www.watson-band.com.cn](http://www.watson-band.com.cn)

Eメール: [mailip@watson-band.com.cn](mailto:mailip@watson-band.com.cn) | [mail@watson-band.com.cn](mailto:mail@watson-band.com.cn)

## 知的財産権

### 2018年1月から実施された知的財産権の新法規

- 1) 新『反不正競争法』の実施。
- 2) 商標出願の身分証明書類には統一社会信用コードを含めなければならない。
- 3) 商標登録出願はニース分類の第11版2018テキストを適用する。
- 4) 『技術移転サービス規範』国家標準の公布、標準番号はGB/T 34670-2017である。
- 5) 中国国家知識産権局とチリ工業産権局及び中国国家知識産権局とチェコ共和国工業産権局との間の特許審査ハイウェイ（PPH）が始動し、それぞれの試行期間は3年と2年である。
- 6) 商標、特許行政事件の再審申請は最高人民法院による行政申立の再審事件の立件手続きに関する規定に係る。
- 7) 最高人民法院による司法審査事件の仲裁審理における若干の問題に関する規定が実施された。
- 8) 上海市特許助成システムの更新。

IPRdaily中文網より

### 中国国家知識産権局の2017年の主要な業務の進展

発明特許の出願件数は1,382,000件で、前年同期比14.2%の上昇、結審件数は744,000万件で、授権までの期間は22ヶ月であった。	特許無効審判請求の受理件数は4,565件で、前年同期比14.2%の上昇、結審件数は4,216件であった。
PCT国際特許出願の受理件数は51,000件で、前年同期比12.5%の上昇であった。	行政による法執行での特許事件処理件数は67,000件で、前年同期比36.3%の上昇であった。
実用新案と意匠の出願件数はそれぞれ1,688,000件と62.9万件であった。	知的財産権保護の社会の満足度は2016年の72.38ポイントから2017年の76.69ポイントに上昇し
国内（香港・マカオ・台湾地区は含まず）の発明特許保有件数は1,356,000件で、人口1万人あたりの発明特許保有件数は9.8件に達した。	特許を担保とした融資金額は72,000,000,000円で、前年同期比65%の上昇であった。

知的財産権に使用された費用

輸出額は4,000,000,000USドル

知的財産権標準化取扱企業

26,000社に達した

知的財産権の模範企業と優位企業

2,788社に達した

全国の小中学校で知的財産権教育  
の試行地点となっている学校

112校に達した

各種知的財産権の研修を受けた人

5,000,000人を超えた

新しく選評された中国の特許奨励金は20件で、意匠金賞は5件、優秀賞は870件で、金賞を受賞した項目は新たに939億元の売上高アップをもたらした。

国家知識産権局のWeChatオフィシャルアカウントより

## 2017年中国大陸の革新企業トップ100リスト

「2017年中国大陸革新企業のトップ100リスト」が、中国大陸で最も革新の実力を持っている100社の企業を選評した。そのうち、当該リストがメディアとインターネット、家電製品等の24の業種から選評された企業、バイドゥ、BYD、ハイアール等の中国国内で有名な企業がリストのトップにランクインした。

特許の質の面から見ると、ハイアールの発明特許は家電業界の総件数の61.2%を占めており、9,000件近い海外の特許が世界の25の国と地域をカバーし、件数ではリストの2位の倍近く多い。また、標準制定の分野で、ハイアールは56の国際規格の制定と改訂に参加し、国際規格の制定と改訂に関する90件の提案を行った。

中国知識産権報より

## 2018～2020年AI産業発展行動計画

工業情報化部は、『新世代人工知能産業の発展を促進する3ヵ年行動計画（2018-2020）』を制定、発行した。人工知能技術特許の協同運用メカニズムの構築を研究し、特許共同運営プラットフォームと知的財産権のサービスプラットフォームの構築を支持する計画である。

2020年まで、初歩的に人工知能産業の標準システムを構築し、第三者のパイロットテストプラットフォームを作り上げ、評価と評定サービスを実施する。パターン認識、語義理解、自動運転、インテリジェントロボットなどの分野で基本的なサポート機能を備えた知的財産権サービスプラットフォームを構築する。

工業情報化部より

### 特 許

#### 中国企業が特許ポートフォリオでヨーロッパの“包囲を突破”

欧州特許庁のデータによると、2016年の中国企業の特許出願件数は7,150件に達し、一躍第6位となった。そのうち、中国ファーウェイ社は2,390件の特許を出願したが、これは前年同期比14.2%の上昇で、上昇率は第1位となった。

過去5年間で、潍柴動力が7.38億ユーロを費やしてドイツのフォークリフトメーカーKION グループを買収、ファーウェイがイギリス集成光電公司を買収、ジューシーがボルボを買収などが連続的に発生した。これらの買収は中国企業がヨーロッパ企業の市場チャネルを迅速に獲得できるようにするだけでなく、中国企業の特許ポートフォリオを改善することができる。美的電器を例とすると、ドイツの大手ロボット会社のKUKA グループの買収に成功した後、2017年上半期のロボット事業の収入は136億元に達し、前年同期比35%の上昇であった。

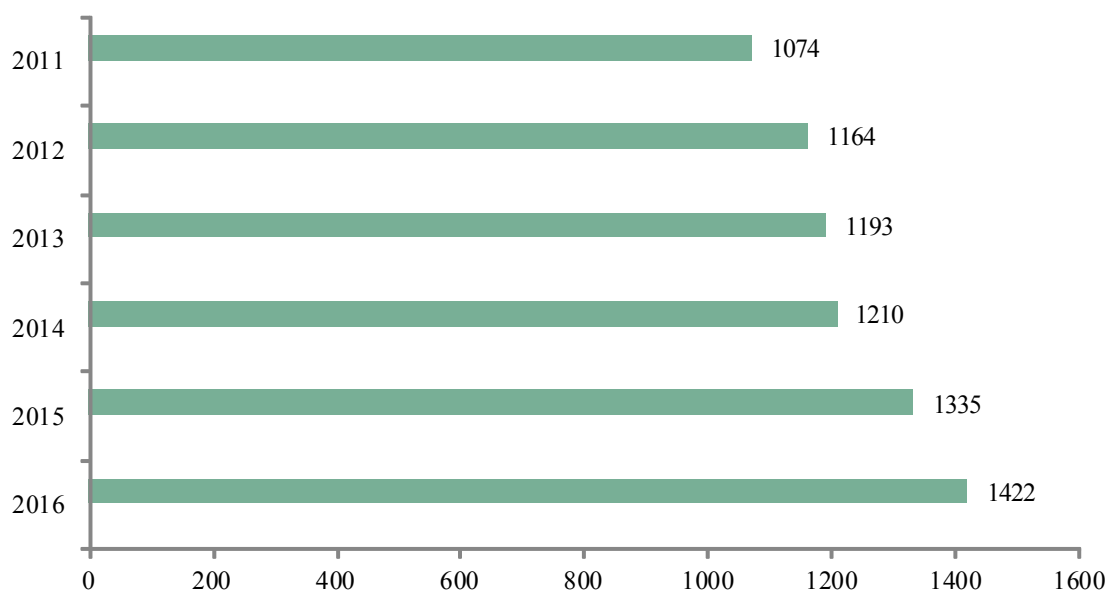
中国貿易報より

### 商 標

#### 2017年に中国で権利が確認された商標の出願人保有件数ランキング

2016年年末までの中国の商標出願件数は22,094,000件で、登録件数は14,509,000件、有効登録件数は12,376,000件であった。中国の市場主体1万あたりの有効商標の平均保有件数は2011年の1,074件から現在の1,422件に増加し、増幅は32.4%、前年同期比6.51%の上昇であった。

2011-2016年市場主体1万あたりの有効商標の平均保有件数



現在、中国では平均7.1の市場主体につき1件の有効商標を保有している。2017年に全国で権利が確認されている商標の出願人保有件数のトップ100（2017年11月までに登録に成功し、権利が確認された商標の保有件数）の中で、テンセントは権利が確認されている商標10,815件の保有でランキング1位となり、アリババ、グリー エレクトリック、京東等の有名な会社がトップ10位となった。

IPRdaily中文網より